資料1

三重県中立議員団　視察

『ものづくり産業支援センター』

企業改革は、自らの手で！
～ノウハウを持った人材がお手伝い

平成24年5月24日（木）

誕生するまでの経緯

平成15年	平成16～17年	平成18年
産業活性化戦略会議に基づき政策構築 ものづくり政策のあり方検討会スタート 民間活力を活かして いきいきとした街づくり		7　キックオフ　18年4月
1　基礎調査 ・アンケート（234社）　15年10月 ・企業ヒアリング（11社）　15年11月 ・他市事例　15年12月	6　試行4社スタート　18年1月	
2　ものづくり政策 あり方提言　16年3月	5　動く支援室発足　17年12月 4　企画立案　17年11月 3　先行企業訪問　17年3月・5社	

鈴鹿市ものづくり産業支援センター　組織体制

鈴鹿市　産業振興部　産業政策課

事務局機能

統　括
- 所長（市職員　1名）

業務推進・管理・事務
- 事務員（市職員　1名）
- 臨時職員（パート1名）
- 企画アドバイザー　1名（企業OB）
- コーディネーター　2名

企業支援機能

専門アドバイザー41人（企業OB）

経　営－2	環境・安全－3
営　業－1	製造技術－11
工　場－8	設　計－2
品　質－2	生産管理－5
生産技術－4	知財・特許－1
経　理－2	

顧問アドバイザー　1名

【個別担当事業】

広報担当	1名
関係機関窓口	1名（訪問相談兼務）
人材育成事務局	1名（支援兼務）
訪問相談員	6名

備考
- ・運営委員会開催　1回／週
- ・SA全体会議　1回／年
- ・広報ものづくり　1回／2か月

協力機関

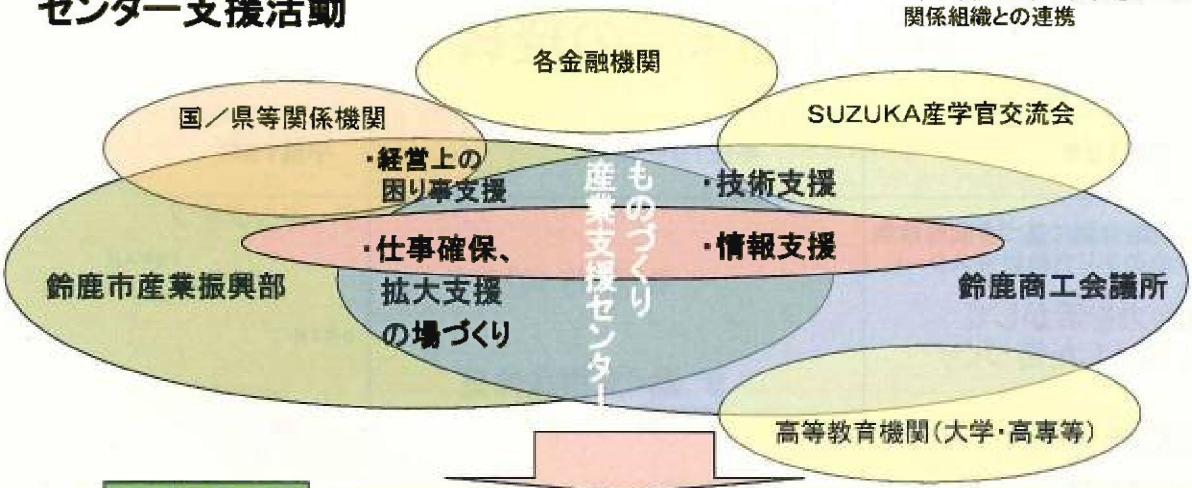
鈴鹿商工会議所、鈴鹿工業高等専門学校、百五経済研究所、鈴鹿医療科学大学、鈴鹿国際大学、鈴鹿国際短期大学,三重県産業支援センター

鈴鹿市中小企業　製造業　約 300 社

企業数は、H21工業統計調査結果を引用

センター支援活動

＊中小製造企業の総合窓口として
関係組織との連携



支援活動

窓口
- ①窓口設置
- ②巡回窓口設置

支援活動
- 企業OBアドバイザー派遣
- 人材育成
- 関係機関連携
- よろず相談

企業の目的
- ◆もうかる体質づくり
- ◆雇用の安定と創出
- ◆新産業・新技術の創出

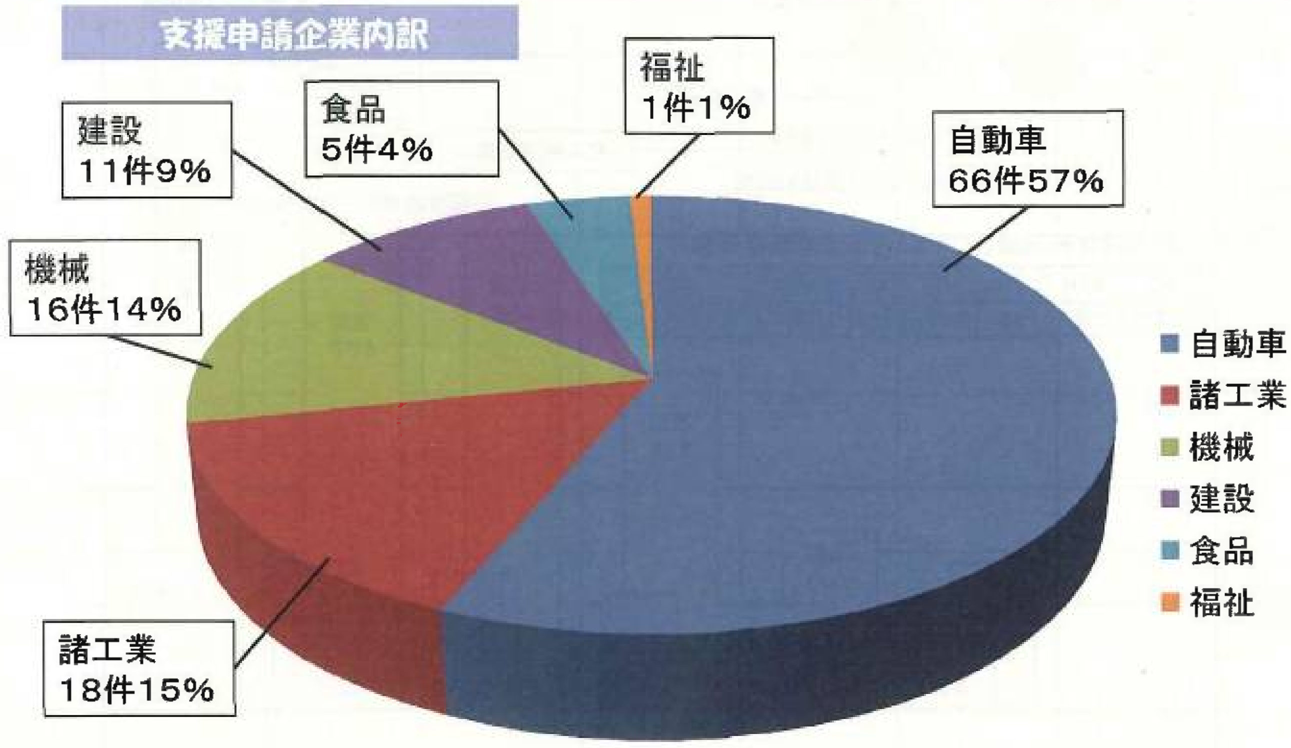
支援 ↓

元気ある製造業の実現

中小企業支援活動の流れ

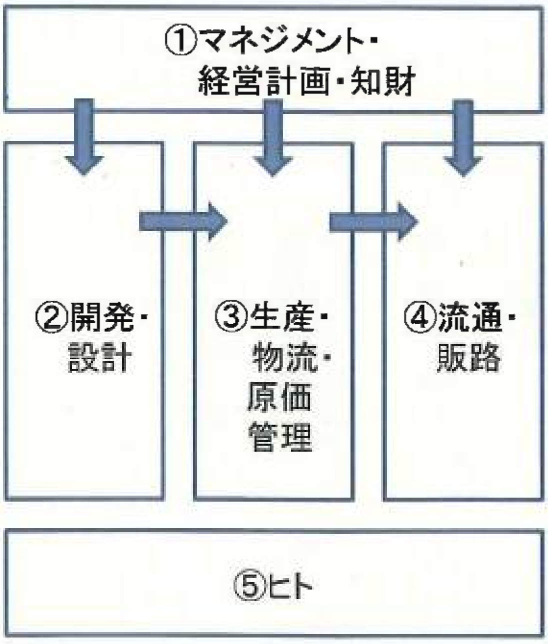
※SAとはスペシャルアドバイザーの略
（支援する企業OBの呼び名）

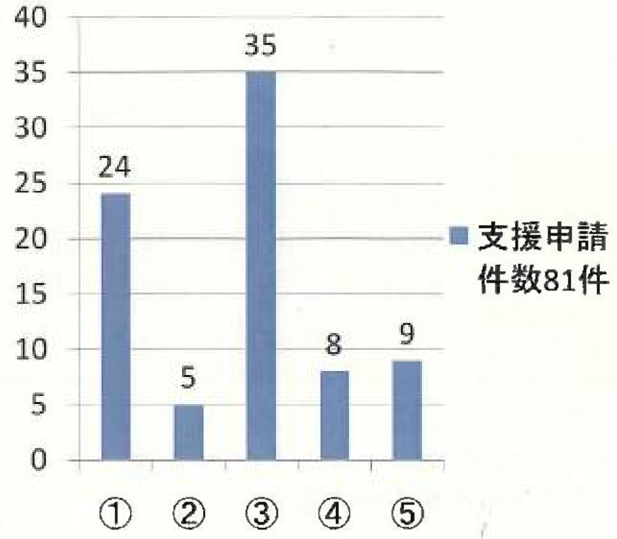
23年度　活動まとめ



申請１１７社の産業別割合

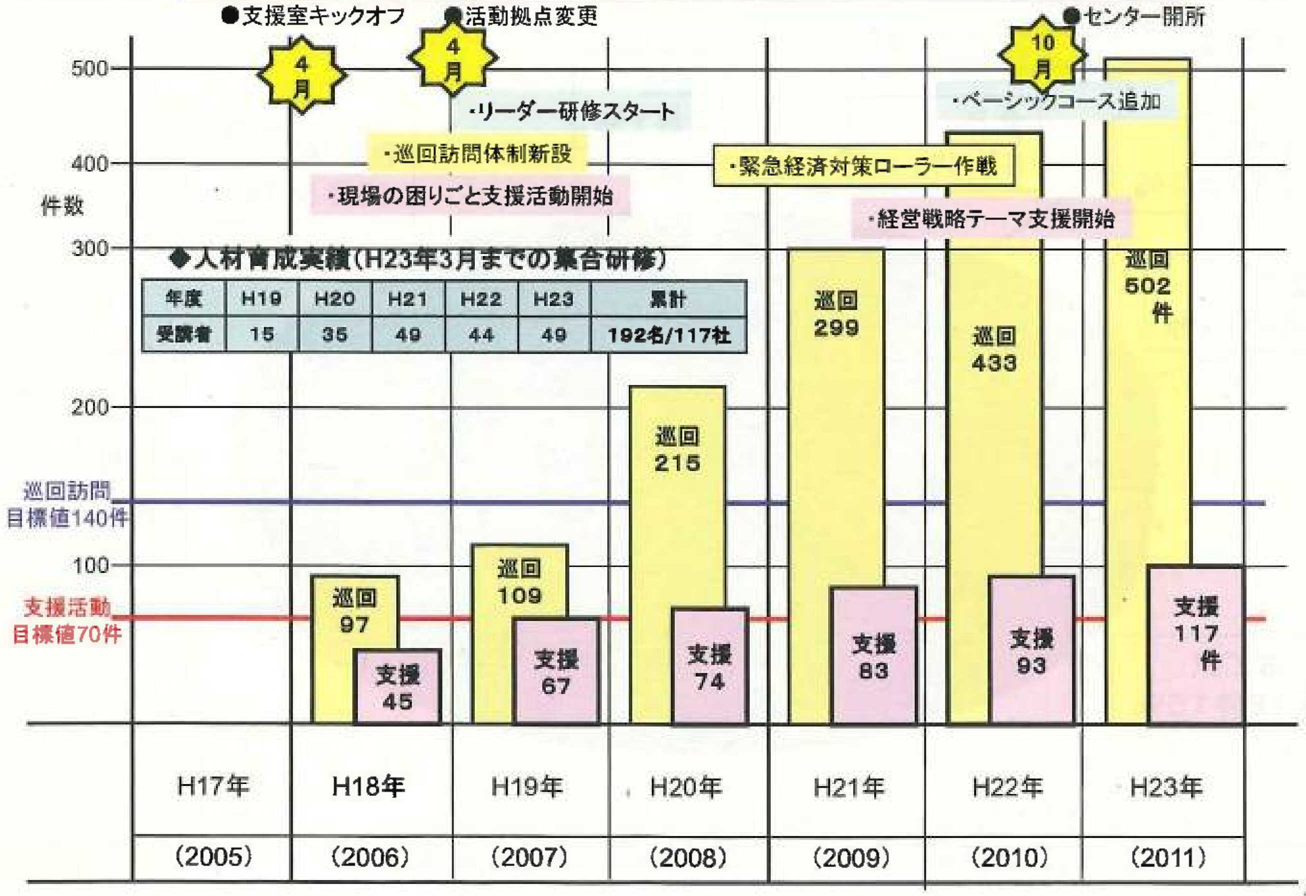
平成23年度　アドバイザー派遣申請　テーマ分類





生産現場における困りごとが多い。

ものづくり産業支援センター　活動実績まとめ

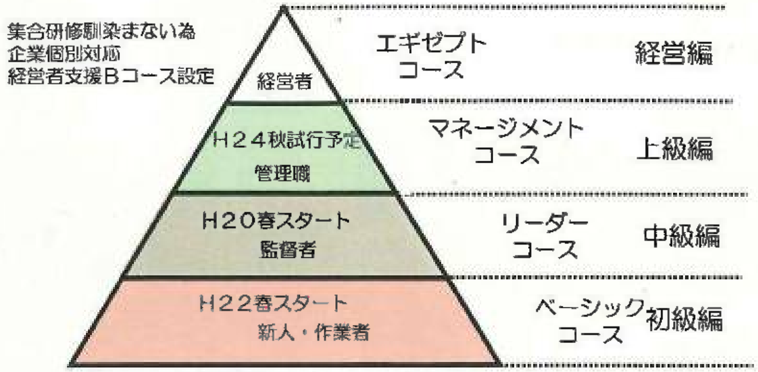


◆人材育成実績（H23年3月までの集合研修）

年度	H19	H20	H21	H22	H23	累計
受講者	15	35	49	44	49	192名/117社

ものづくり動く支援室が考える

人材育成コース



集合研修参加集計表

H24-3-末　現在

	リーダー研修		ベーシック研修		計
	春	秋	春	秋	
19　年		試行 15人			15人／11社
20　年	19人	16人			35人／22社
21　年	16人	17人	試行 16人		49人／24社
22　年		19人	25人		44人／26社
23　年		26人	23人		49人／36社
計	35人	93人	64人		192人
24　年	23人		24人		

鈴鹿市ものづくり産業支援センター

人材育成コースのカリキュラム

ベーシックコース　現場力

◆仕事をうまくやるには
・働くことの意味
・職場の人間関係
・仕事を確実に
・やりがい/達成感

3回実施済み

◆グループ活動
コミュニケーション力を養う

リーダーコース　指導力/管理力

◆仕事の質を高める
・お客様が求めているもの
・チャレンジ精神
・最後までやりきる力
・失敗に学ぶ

6回実施済み

◆グループ活動
問題解決プロセスを実践で

座学＋Gr活動で身に付け そして実践

マネジメントコース　総合力

◆経営者の右腕
・ビジョン/戦略志向で政策立案
・他部門/他社を巻き込んだ総合力発揮
・地域との関わり
・管理能力
・現場の環境改善

検討中

◆グループ活動トラブルシューティング

エグゼクティブコース　先見力

◆会社の存続と雇用の確保
・法令順守(コンプライアンス)
・企業統治(コポレートガバナンス)
・経理(損益分岐点)
・各種補助金の活用
・判断力/決断力

検討中

市役所１階市民ロビー
　ものづくり産業展示コーナー

H23
10月17日
より開始

1企業
2週間の
展示を
いただいて
おります

第2回企業祭

平成24年2月25日（土）9:00～13:30
市役所別館第3にて開催

◇来場者／参加者

市内中小企業	63社98人
出演者	9人
展示担当者	28人
協力関係機関	11団体15人
鈴鹿市市会議員	10人
三重県会議員	2人
一般市民	17人
アドバイザー	9人
スタッフ・報道等	29人
合　計	**217人**

◇ヒューマンドキュメント

３名の経営者が語る自身のモットーと経験談

- 苦しい時の友人の助けの大切さを実感した。
- 友人に職場の汚さを指摘され，製品の品質は職場のきれいさが重要であると知りました。
- 自分が機関車のごとく走るのではなく，社員みんなが生き生きと活躍できる会社にすること。
- 「企業は人なり」。後継者育成に取り組んでいる。

◇屋台村　見本市

31社が自社の製品を持ち寄りPR
企業同士の交流の場に

◇パネルディスカッション

今年度初めての試み
- 企業経営者　5名
- 人材育成OB　2名
- 協力関係機関　3名

～先達の知恵に学び未来に繋ぐ～
をテーマに過去・現在・未来のステージ別にものづくりを見つめる

お疲れ様でした